

来年度以降の体制について

令和7年3月25日

来年度以降の体制について

大谷・小鹿地区まちづくり検討会議(現在の体制)

【目的】

地区特性や課題を踏まえ、目指すべき姿や方向性を示すまちづくりビジョンを策定

【メンバー】※要綱にて委員を定めている

産 : 関係企業、業務代行者

学 : 地元大学、学識経験者(委員)

民 : 自治会、活動団体

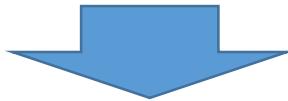
官 : 静岡市(事務局)

座長:学識経験者(工学院大学遠藤教授)



座長
工学院大学
遠藤 新 教授

現行の大谷・小鹿地区まちづくり検討会議は当初の目的を達成したため解散



大谷・小鹿周辺地区まちづくり未来会議(新体制)

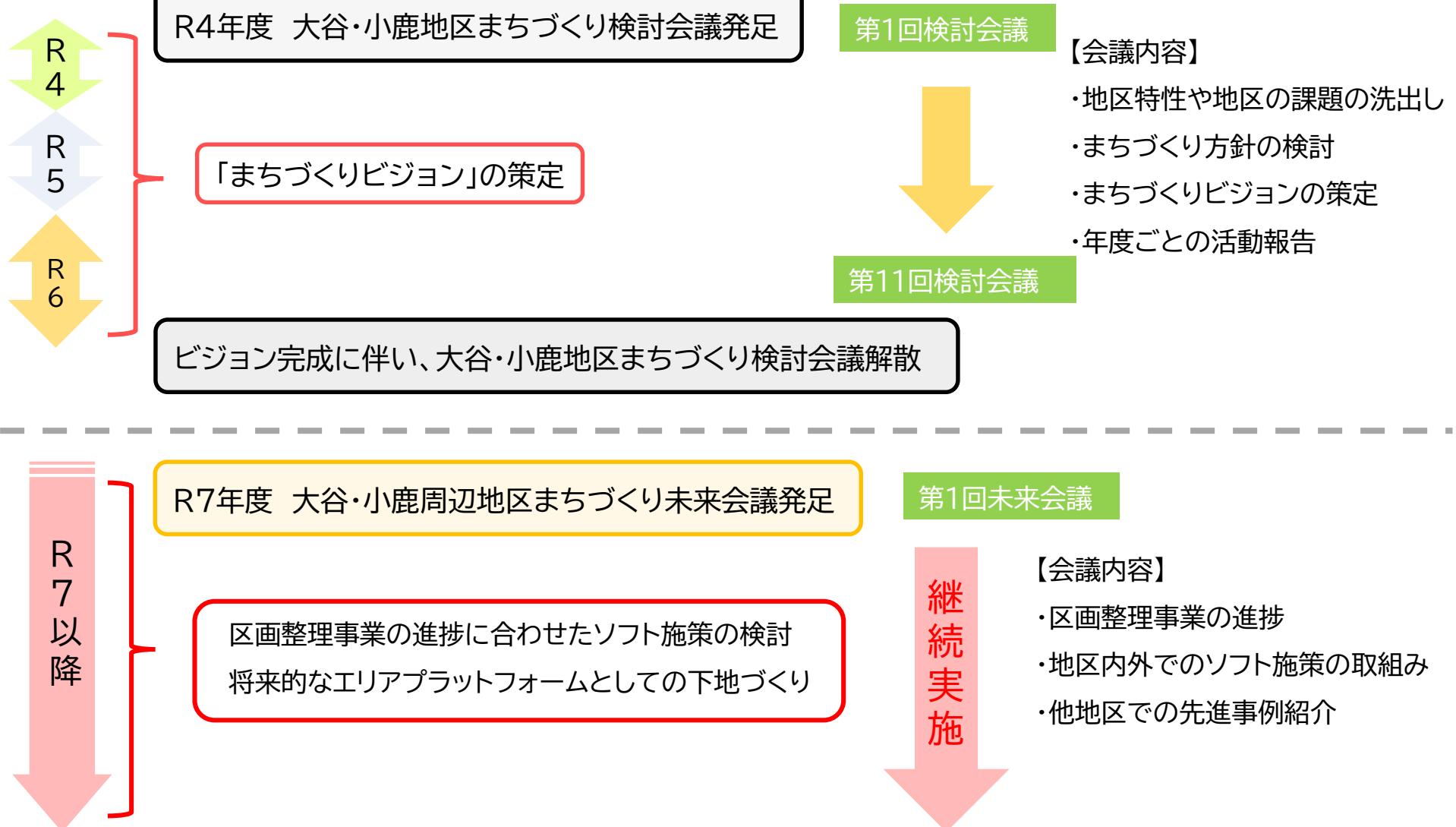
【目的】

今後10年以上続く当地区のまちづくりについて、区画整理事業の進捗報告や、地区内外でのソフト施策の取組み報告、他都市における事例紹介等を行うことで、新たな活動や繋がりの誘発を促す。また、将来的にエリアプラットフォームへ発展することを目指す。

【メンバー】

- ・検討会議と同様、产学研官の多様な主体で構成するが、要綱等でメンバーを決めず、流動的に実施する。
- ・当地区に新たに進出した企業や、当地区にて新たな活動を始めようと考えている周辺住民の方や学生の方も参加できるような会議とする。
- ・静岡市大谷・小鹿まちづくり推進課とNPO法人ESUNEによる共同での運営を想定。

(2) 来年度以降の体制



大谷・小鹿地区における**新たなエリアプラットフォーム**の構築